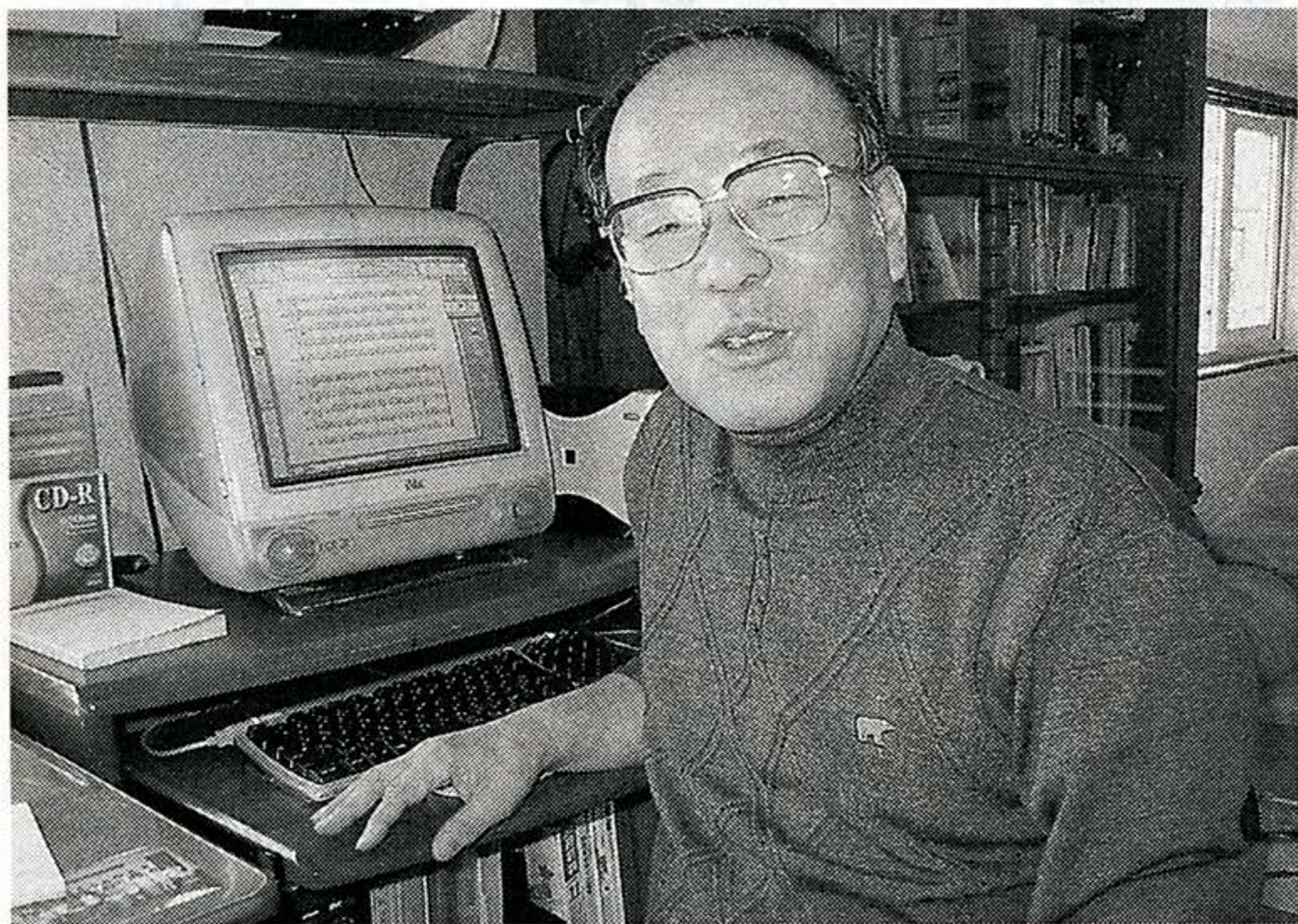


「最近の曲づくりは愛機のマックが活躍しています」と  
塚原さん



塚原 茂夫さん(67) 釧路市米町1

# 釧新郷土芸術賞に輝く

受賞者  
の横顔

□4□

蝦夷太鼓保存  
会を創設

「生まれた子供は知恵  
はないが、親や周りから  
知恵を授かり、だんだん

特別賞

和太鼓

成長していく。ひとつの  
曲づくりも同じで、成長  
する音をつくらなくては  
いけない。意味のある曲  
を提供している」と自負  
する。

長野県飯田市出身の塚  
原さんは1952年、陸

上自衛隊中央音楽隊に入

隊、59年には釧路市職員

に拝命された。この間、

北海道くしろ蝦夷太鼓保

存会を創設、初代リーダ  
ーとして会の技術向上、  
鼓楽(郷土芸能)を通じ

小学校で打楽器の指導に  
当たったほか、のちの釧  
路市民吹奏楽団となる釧  
路市青少年吹奏楽団を創  
設し、常任指揮者として  
手腕を振るった。

くしろ蝦夷太鼓は大阪  
の日本万国博覧会や香港  
でのアジア芸術祭、スぺ  
インでのジャパンフェス  
ティバルと、国内外での  
公演活動で活躍してき  
た。海外公演では「太鼓  
なのに、なぜメロディー  
として聞こえるのか」と  
よく聞かれるという。こ  
れまで100曲以上を作  
曲、古典を基本にしながら  
現代のリズムを取り入  
れる手法で、聴衆を魅了  
してきた。

全国の80団体

に太鼓指導

今回の受賞について

「35年間やってきてよう

やく実を結んだ。今年

## 地域文化の発展に寄与

### 日本太鼓連盟の1級指導員

日本太鼓連盟の1級公認  
指導員(全国24人、道内  
初の認定を受け、高文連  
の全道大会で最優秀賞、  
ロシア公演が実現と、話  
題続きでうれしい。

現在、全国の太鼓保存  
会を中心に小中高校など  
80団体を指導する。北海  
道釧路地区吹奏楽連盟顧  
問、釧路市民吹奏楽団顧  
問、東北道太鼓連盟参  
与、北海道くしろ蝦夷太  
鼓保存会指導理事。

(おわり)

アッパし君

木崎征夫

